

教科名		社 会	教科書調査報告
発行者名		東京書籍	教育出版
調査の観点			
A 内容について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の問題解決的な学習の過程を意識しながら、学習を進めることができるよう配慮されている。 ・ユネスコの世界遺産に登録されているものや国が国宝に指定しているものを捉えやすくするために、世界遺産マークや国宝マークがつけられている。 ・「ことば」や「学び方コーナー」での解説、コンテンツの掲載などによって、各学年で身に付けるべき知識・技能を定着させるための工夫がなされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生では「学びのてびき」に四方位について写真を示しながら解説している。 ・「地図をつかってまとめる方法」について「学びのてびき」の欄を設けて具体的に示されている。 ・「この時間の問い」で始まり「次につなげよう」という項目で終わる構成になっている。その時間に「何を学ぶのか」「学んだことが次時にどうつながるのか」を示すことで振り返りと次時のめあてを確認しやすい工夫がなされている。
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を見たり、ものごとを考えたりする際の見方・考え方を「空間」「時間」「相互関係」「比べたり、関連付けたりといった方法(考え方)」の4種類のイラストで示しており、どのような視点や方法に着目して学習すればよいかを明示している。 ・「まなび方コーナー」の中で、情報を集めたり、資料を読み取ったり、調べたことをまとめたりする学習の技能や方法を解説するとともに、各単元の学習のまとめとしての多様な表現方法が(新聞、地図、キャッチコピー等)が示されている。 ・学習計画の立て方や学習問題についてのまとめ方の例示がされていたり、「QRコンテンツ」の中に学習計画ワークシートやまとめるワークシートが掲載されたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に時期や時間の変化、工夫や関わりなど「社会科で使う見方・考え方」というページが設定されており、児童の学習する際の視点が明確であり、課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等の育成につながる。 ・社会的事象を調べるための方法について、「社会の学習で広げる」や「学びのてびき」において詳しく示されている。 ・各単元において「みんなで作った学習問題」を例示し、学習問題をつくる学習活動が設定されており、各時間の問いである「この時間の問い」が明示され、問題解決的な学習を進めることができる構成となっている。
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響として、部品が不足し、多くの工場が生産が止まったことや医療現場の混乱の報道を取り上げている。 ・国際交流の事例として、2021年の東京2020オリンピック・パラリンピックの様子を取り上げている。 ・1ページに掲載されている写真や統計資料等の数と文章量のバランスが適切で児童にとって学習の参考としやすい構成になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近現代や現代の資料を対比することできる資料構成となっている。 ・電子マネーや新型コロナウイルス感染症、東京2020オリンピック・パラリンピックなど、現代的な諸課題に関わる資料が掲載されている。 ・歴史の学習で、時代の人々の様子を象徴する想像図が充実している。
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「QRコンテンツ」に「EduTown SDGs」を掲載し、各学年の学習内容に応じて、SDGsと関連させることができるようにしている。 ・SDGsと現在の世界の課題をつなげて考えたり、SDGsの視点でこれからの社会の在り方や自分たちにできることを考えたりできるような構成になっている。 ・世界の様々な環境問題を取り上げ、持続可能な社会を実現するために、どのような取り組みがなされているかを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目次の右端にSDGsとつなげて考えることを促すページを明記している。単元の学習とSDGsをつなげて課題を考えることができるようになっている。 ・4年生の教科書で「ペットボトル再利用品」「グリーンマーク」といったリサイクルで作られた製品についているマークを資料として示すなど、環境に配慮することができるようにしている。 ・現代的な課題(水道管の老朽化・電力の確保・少子化・高齢化等)について取り上げている。
B 使用上の便宜について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・各時間の学習のめあてを、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の4段階を踏まえて掲載し、1単位時間で学習すべきことが示されている。 ・社会科の学習の進め方を確認できるようなページがまとめられていることに加え、QRコンテンツでも確認できるようになっている。また、「まなびのポイント」として、「主体的・対話的で深い学び」の学習のポイントとなる活動を示している。 ・6年の教科書が「政治・国際編」と「歴史編」の2分冊で構成し、既習事項から歴史の学習が分析されるよう配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3・4年生の教科書では、学習する際の活動の流れが、「活動」という項目で、3段階で見開きの左下に明示されており、見直しをもって学習することができる構成となっている。 ・高学年の教科書では5年生「自分で調べて考える」5・6年「つなげる」という項目で、自分なりのまとめ方や考えを引き出す工夫がなされている。 ・単元の最後に自分たちができることを考える学習が設定される単元もある。
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・4年の地域の開発で用水の開発を取り上げており、多摩市の小学校が扱うことのできる教材である「玉川上水の開発」を学ぶ際に生かすことができる。 ・5年生の高い土地のくらしで、事例地として群馬県嬬恋村を取り上げており、八ヶ岳で遠足・集団宿泊的行事を行う多摩市の児童にとって、関連した学習を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生では、東京都内の事例を扱っており、多摩市での地域においても実態に即して使用することができる内容になっている。 ・6年生では「若者の意見を政治に生かす」や「生活とわたしたちのくらし」というトピックを取り上げ、多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例や「多摩市障がい者への差別をなくし共に暮らすことのできるまちづくり条例」に基づいて施策につながる内容となっている。

教科名		社 会	教科書調査報告
発行者名		日本文教出版	
調査の観点			
A 内容について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元のまとめとして、学習問題について考える場面が設定されており、児童が単元の内容を振り返り、学んだことを深めることができる。 歴史の学習では、織田信長と豊臣秀吉の政治について学んだ後に、徳川家康の政治について学ぶ構成であり既習の内容を活用しながら学ぶことができる。 空間や関係、時間といった物事を見たり、考えたりするときの「三つ目のつけどころ」として、各単元にアイコンを示し社会的事象の見方・考え方が養われるよう構成している。 	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 児童のコメントを掲載し、様々な視点で学習内容を捉えられるようにしている。また、思考ツールやまとめ方を例として記載している。 「問題を発見する力を身につけよう」→「問題を追究・解決する力を身につけよう」→「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という学習の流れを取っている。また、「学び方・調べ方コーナー」が示されており、関係図へのまとめ方など資料活用能力を身に付けることができる構成となっている。 3年生の「市のうつりかわり」の学習で、同じ場所の古い写真と新しい写真が掲載されており、児童が比較しやすい内容になっている。 	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> 2021年の資料が使われており、二次元コードで資料やデータ、動画を読み取れるようになっている。 5年生ではデジタル資料を含めた資料が豊富に掲載されており、ドローンやAI自動運転なども取り上げられている。 様々な関係機関の連携を表した図の記述内容が精選されており、児童にとって理解しやすいものとなっている。 	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> 各単元で「考えようSDGs」という学習活動が設定されている。 身体障がい者の駐車場やリサイクルコーナーについて取り上げなど、人権や環境について考える内容が掲載されている。 6年生「国際連合と日本の役割」ではSDGs取り上げ、これまでの学習を振り返りながら、世界の人々とともに生きていくために、自分たちができることは何かを話し合う活動を設定している。 	
B 使用上の便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> SDGsと関連付けることで、社会的事象とのつながりを主体的に考えやすいようになっている。落ち着いた画風のイラストが多く、資料に集中しやすい。 巻頭に「この教科書の使い方」というページを掲載し、教科書の使い方が具体的に説明されている。 詳しく知ってほしい内容については、二次元コードが付いており、読み取るとその資料について理解できるようになっている。 	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」を各単元に掲載し、多摩市が推進するESDの内容と関連深いものとなっている。 交通事故や事件の数の資料について近隣市のものが使用され、児童にとって身近に感じることができる。 	